

放課後子ども教室推進事業

自治体名

岩手県矢巾町

震災後の地域の状況・仮設住宅数

当町は岩手県の内陸に位置しており、津波浸水等の大きな被害はないが、災害に対する不安は高まっている。

<取組名>

～児童の居場所づくり活動～

取組概要

実施形態 (該当に○)	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
		○		放課後児童クラブほか
実施主体・ 場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
		77	95	児童館ほか

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
					()
学校と地域の 協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
					()
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○	○	○	○	()
家庭教育・ 保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					()
地域課題に応じた 学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					()

【矢巾町放課後子ども教室推進事業】

本町では放課後児童の居場所を確保するため、児童館や地区公民館を会場として、放課後子ども教室推進事業を展開している。

児童館では、町内4児童クラブの活動を中心として連携・サポートしながら事業を実施している。町職員がコーディネーター的な役割を担い、各児童クラブと連絡調整しながら取り組み内容を検討。概ね月1回程度、スポーツや体験活動などを中心として講師を各児童クラブへ派遣。時には、複数児童クラブ合同での軽スポーツなどを実施している。また、町公民館に登録している自主活動サークルを派遣するなど、地域住民を交えた体験活動にも配慮している。

地区公民館においては、町内1カ所の公民館で実施し、退職教員など地域ボランティアの協力により、自主学習の見守りや、パソコンを活用したゲーム感覚の学習など実施しているほか、縄跳びやボール遊びなどを通じて児童の居場所づくりに取り組んでいる。

(写真)



(写真)



取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

震災による被害は沿岸ほどではないが、災害に対する不安や心のケアなど、取り組むべき課題は多い。また、地域で子どもを育むことにより、地域コミュニティの再生についても、取り組むべき課題である。

◇住民等からの要望・必要な取組

子育てや教育に対して関心の高い住民が多い。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- ・ 町内の各児童クラブ。
- ・ 地区公民館長を中心とした地域住民ボランティア。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

- ・ 児童館教室において、年 1 回の担当者会議で情報の共有化を図っているほか、町公民館に登録している自主活動グループを講師として派遣するなど、より身近で顔の見える活動を行っている。
- ・ 地区公民館教室の活動を地域に理解いただくため、児童のほか保護者や地域の高齢者が共に参加できるイベントなどを実施。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

- ・ 児童クラブとの連携により、充実した児童の居場所づくりを行うことができた。
- ・ 地域住民の協力を得ることで、子どもは地域で育むという意識づくりにも役立っている。

◇復興に資する内容としての数値的達成の成果

- ・ 平成 26 年度の放課後子ども教室推進事業では、4小学校区全体で 95 回、のべ 2,104 名の児童の放課後の居場所を確保しながら多様な体験学習を行うことができた。また、児童館での体験教室では、地域の大人と子どもが交流を深め、地域コミュニティ構築の一助となった。

◇課題や今後の展望

- ・ 地区公民館教室の活動をより多くの方々に知っていただき、保護者や地域住民に活動の理解と参加を求めていく。